

「家庭・地域とともにつくる 温かさいっぱいの学校」 をめざして

下関市立豊浦小学校

学校運営協議会について

○実施回数（合計5回）、主な協議内容

- ・第1回 学校運営方針の説明、小中合同避難訓練（津波想定）・・・小中合同
- ・第2回 授業参観・給食試食会の実施・・・小のみ
- ・第3回 全国学力・学習状況調査の結果、学校評価の取組説明と結果・・・小中合同
- ・第4回 各学校取組の進捗状況について・・・小中合同
- ・第5回 学校評価の結果、次年度の方針の検討・・・小中合同

特色ある活動

◆長府中学校区での共通実践

【小中合同研修会の実施】

右の7部会に分かれ『長期目標』『短期目標』『互見授業の計画』を立て、実践しています。

【家庭学習週間への取組】

中学校の試験週間と重ねて、家庭学習週間を実施しました。「家庭学習がんばりチェックカード」を活用して取り組みました。

【小中合同避難訓練（津波想定）の計画】

地震想定による1次避難（教室から運動場へ）、2次避難（小学校運動場から中学校へ）を想定し、地域の方の見守りもお願いして小中合同避難訓練を計画しました。避難経路にあたる道路や危険箇所の確認を行ったり、安全確保のため高学年と低学年がペアになって避難する計画を立てたりしました。当日は、天候により、校内で全校児童を対象にしたKYT学習に切り替えました。地域も含め、いざという時の心構えをもつことができました。

【共通取組事項の設定】

小中合同研修会で協議した結果、『あいさつ』を小中共通の取組事項とすることに決定しました。そこで、小学校では各クラスであいさつ運動を行うことになりました。中学校では、生徒会を中心としてあいさつ運動に取り組んでいます。意欲を高めるために、元気のよいあいさつができた人やクラスを運営委員が評価し、お昼の放送で発表してやる気を引き出しています。来校した時や地域での様子を見て、学校運営協議会の委員の方にも励ましの言葉をいただいています。



来年度に向けて

今年度も様々な活動に対して、地域の方の支援をいただきました。終業式では、コーディネートしてくださる方にどんな思いでお世話をしてくださっているかお話をいただきました。直接地域の方の思いを聞くことを通して、地域とのつながりを実感し、地域の一員としての思いを強くできるのではないかと思います。

今後も一小一中を強みととらえ、9年間を通して系統的・計画的に指導していくために、共通取組事項を設定し、実践していくことで、家庭・地域とともにつくる温かさいっぱいの学校をつくっていきたいと考えています。

「地域とともに誇りある学校」をめざして

下関市立長府中学校

学校運営協議会について

- ① 委員の構成：15名（内10名は小学校と兼務）
- ② 実施回数：4回（小中合同で開催、参観日や学校行事をその都度案内）
- ③ 主な協議内容
第1回：学校運営方針の説明、学校評価の説明と協力依頼等
第2回：学校運営の進捗状況、学校評価の途中経過、挨拶運動の取組等
第3回：学校評価に基づく学校運営の総括並びに反省、挨拶の評価
第4回：次年度の学校運営方針
- ④ コーディネーターの活動
 - ・人数は3名（豊浦小に常駐）
 - ・協議会等の開催
 - ・学校支援等（下記取組）に係る計画・連絡・調整
 - ・小中学校や地域団体との連携



【コミュニティカレンダー】

特色ある活動

◆地域の方の学校支援

- ①コミュニティカレンダー配布（4月）、②花活動（12回実施）、③職場体験学習（7月：実習先との連絡調整）、④文化祭バザー（10月）、⑤面接指導（12～2月：面接官）、⑥職業講話（2月：講師依頼）、⑦英語検定（2回実施）、⑧漢字検定（3回実施）、⑨夏休みの補習（8月：大学生等）

◆ふるさとを愛する心の育成に向けた取組

- ①ふるさとまつり綱引き大会（10月：長府商店街）、②忌宮神社みこしかつぎ（10月：生徒有志）、③長府時代祭行進参加（10月：城下町長府一円）、④乃木神社絵馬奉納（12月：美術部）

◆学校からの地域貢献

- ①地域清掃活動（各部活動）、②V S活動（全校生徒年3回）、③海岸清掃

◆地域住民が学校に集まる仕掛け

- ①長府の寺子屋＝教員による生涯学習講座（5講座開設、45名受講）

来年度に向けて

学校の取組を長府中校区にもっと伝わるよう、発信力を高めるとともに、長府地域の「ひと・こと・情報」を継続して活用し、今後の学校運営を一層充実することが必要だと考えています。また、学校運営協議会はもちろんのこと、「まちづくり協議会」や「学警連」等の地域の諸団体との連携を緊密にし、生徒の自己肯定感と有用感を高め、地域とともに誇りある学校づくりに邁進していきたいです。